



ネイチャーポジティブ支援サービス



～空間情報技術で企業価値を高める国際航業の生物多様性ソリューション～

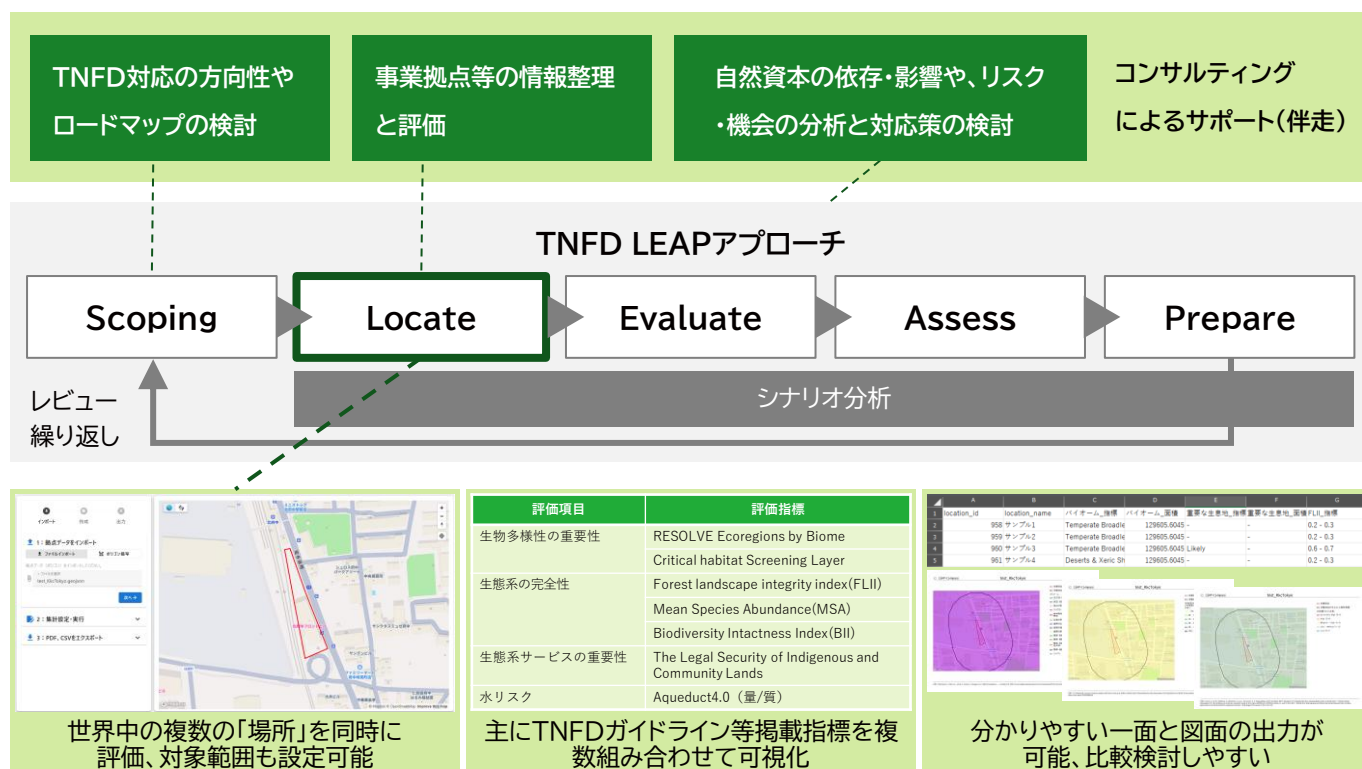
2030年のネイチャーポジティブ実現に向けて、生物多様性への対応に課題を感じていませんか？

企業にとって生物多様性への対応は、リスク管理・企業価値向上のための「必要不可欠な投資」へと変わりつつあります。

国際航業は、空間情報技術を最大限に活用し、事業活動と自然の関わりを「測る」ことで貴社の生物多様性への取り組みと企業価値向上を支援します。

TNFD等対応支援

昨今、企業は非財務情報として気候変動と共に水や生物多様性等の自然資本に関する情報開示が求められています。その中で最も有名なTNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)フレームワークは、開示内容こそTCFDとほぼ同様ですが、原材料調達場所や生産拠点といった「場所」を対象とした自然資本に関する評価が重要であり、まさに空間情報技術が強みを発揮します。国際航業は、TNFD関連の全般をコンサルティング可能であり、空間情報技術によって「場所」の自然資本を精度高く可視化・定量化することができます。



TNFD等対応支援ソリューション LEAP – Compass

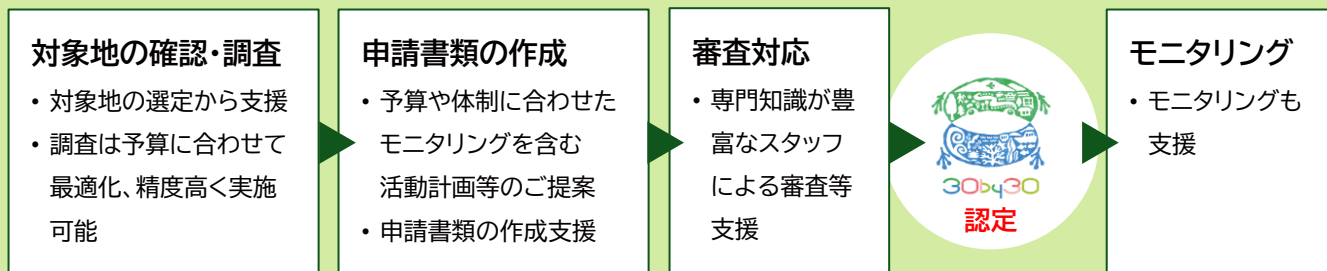
国際航業は、主にTNFDガイドライン等に掲載されている複数の指標を組合せて、生物多様性にとってセンシティブな場所かどうかを短時間で評価できる「LEAP – Compass(商標登録中)」を開発しました。これにより、世界中の「場所」の評価を簡単に実施することができるようになりました。高精度の解析によってTNFDレポートの信頼性が向上することになり、ひいてはステークホルダーから評価され、企業価値の向上に繋がります。

なお、原材料調達先については「診ま森Global」において詳細な調達場所の推定からその場所の評価まで可能です。

自然共生サイト登録支援

2023年から環境省の取組みとして、企業が所有する山林等の未活用地を「自然共生サイト」に登録できるようになり、多くの企業が取り組まれています。2025年からは「生物多様性増進活動促進法」が施行され、生物多様性を回復・創出する場所も登録が可能となり、「ネイチャーポジティブ」(自然を回復軌道に乗せること)を実現するための重要な取り組みの一つとなります。また、自然共生サイトへの登録は、企業価値向上やブランディングの他、TNFDへの活用も期待できます。

支援内容



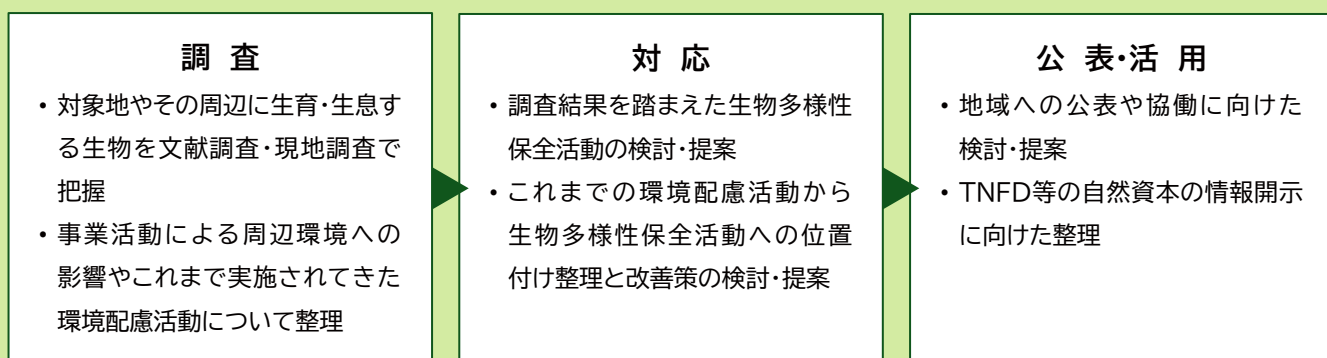
国際航業は、空間情報技術はもちろん、自然環境に詳しい経験豊富なスタッフが、認定に必要なすべてのステップを効率的にサポートします。

貴社の貴重な土地資産を「環境貢献」と「企業成長」を両立させる資産へと転換しませんか？

生物多様性保全活動支援

企業活動と生物多様性との関係について注目が高まる中、企業による生物多様性保全活動は、従来のESG評価、地域・社会貢献、ブランディングに加えて、TNFDへの活用も期待できます。文献調査や現地調査により、各拠点やその周辺における事業活動と周辺環境との関わりについて把握することで、ネイチャーポジティブへ貢献できる施策を検討、実施することが可能になります。

支援内容



国際航業は空間情報技術はもちろん、公共・民間を問わず実施してきた環境調査や環境アセスメントの経験を活かし、効率的にサポートします。

生物多様性保全活動は長く続けることが重要です。予算や公表・活用を見据えた最適なお提案をいたします。